



はじめに

釧路市こども遊学館の建設に当たっては、市総合計画に掲げられた「青少年科学館の改築と活動の充実、全天候型市民広場の建設、中央児童センターの建設」がこの構想の基礎となり、「こども遊学館を考える懇談会」をはじめ市民準備組織などによる様々なご検討をいただき、当館が“遊びと学び”の融合をキーワードに、参加体験型の施設として、平成17年7月にオープンいたしました。

お蔭様で、これまで年間10万人程度の入館者の皆様にご利用いただき、心から感謝しております。

当館では、毎年多くの事業を展開しており、これからも子どもから大人まで楽しく遊び学べる場として、皆様に一層支持されるよう努めてまいりたいと存じます。

さて、小中学校や幼稚園、保育園等の団体利用には、修学旅行における体験学習をはじめ、学校・学級単位の理科の授業、一般的・総合的な学習や社会見学、また、幼稚園や保育園の遠足・園外活動等があり、さらに、観光客等の各種団体の皆様の見学などまで、幅広い形態があり、それぞれの形態に応じたプログラムが考えられます。

今回、「学校等の団体利用のための手引き」を、小中学校、幼稚園、保育園等の先生方や各種団体の関係者の皆様に、当館を効果的に活用していただくため、作成いたしました。まだまだ、皆様に充分お応えする内容になっていないところもあろうかと存じますが、疑問なところ知りたいことなど、お気軽にお電話などでお問い合わせいただければ幸いです。

なお、この手引きの年度ごとの更新につきましては、当館のホームページ (http://kodomoyuga_kukan.jp) 上に掲載していくこととしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

ところで、当館の施設には、ユニバーサルデザインやバリアフリーの考えが取り入れられ、子どもや高齢者、ハンディキャップをもたれた方々にも利用しやすいよう配慮されております。

また、施設の内容は、1階の全天候型広場の「さんさんひろば」に、国内最大級の屋内砂場があり、また、同階の遊びの広場の「あそびらんど」には、低年齢層向けの各種遊びのコーナーがあり、入口でウエルカムロボットのハロッドが皆様をご歓迎いたします。

3階の「スターエッグ」では、プラネタリウムを日に4回上映しております。同階の展示室の「ふしぎらんど」には、「風」「振動」「光」「水」をテーマとした展示物があり、スタッフも常駐しております。科学実験等のサイエンスショーを行うサイエンスポットもあります。

4階の展示室の「ものしりらんど」では、書籍やインターネットにより科学情報等を知ることができ、また、SL機関車等の音も聴くことができるオーディオ装置もあります。

当館のご利用を通して、豊かな感性、創造力、知的好奇心を高め、元気で楽しい“遊びと学び”の体験となることを期待しております。

平成22年4月

釧路市こども遊学館館長